

2020年8月11日

2021年3月期 第1四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**

2020 ALL-JAPAN EXECUTIVE TEAM

MOST HONORED COMPANY

NISSAN CHEMICAL CORPORATION

2020 1Q実績

(億円)

	2019実績	2020実績	増減	2020予想 (2020/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	487	493	+6	498
営業利益	93	98	+5	85
営業外損益	7	6	-1	6
経常利益	100	104	+4	91
特別損益	9	0	-9	0
純利益 (1)	78	76	-2	68
EBITDA (2)	116	121	+5	-
EPS (円/株)	53.13	52.38	-0.75	-
売上高営業利益率	19.2%	19.9%	+0.7%	17.1%
為替レート (円/ドル)	110	108		108
原油(JCC)(ドル/bbl) (3)	72	31		65

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (3) 財務省貿易統計ベース

2020 1Q決算 ハイライト

1. 前年同期比

- ◆営業利益は、前年同期93億円に対し、98億円と5億円の増益
 - －化学品は、メラミン・テピック・環境化学品の減収が大きく、減益
 - －機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調と、固定費の減少を主因に増益
 - －農業化学品は、アルテア増収も、フルララネルの出荷減(業績予想織り込み済み)、ラウンドアップの減収、固定費の増加により減益
 - －医薬品は、ファインテック増収も、リバロの減収により減益
- ◆純利益は、特別損益がなく(前期には投資有価証券売却益9億円計上)、前年同期78億円に対し、76億円と2億円の減益

2. 業績予想(2020年5月発表、p2、p10、p26参照)比

- ◆営業利益は、業績予想85億円に対し、98億円と13億円の**上ぶれ**
 - －化学品は、メラミン・テピック・環境化学品などが全般的に**下ぶれ**し、利益**下ぶれ**
 - －機能性材料は、ディスプレイ・半導体の好調と固定費の**下ぶれ**を主因に利益**上ぶれ**
 - －農業化学品は、売上高**下ぶれ**(フルララネルは**上ぶれ**、その他農薬が全般的に**下ぶれ**)も、固定費**下ぶれ**のため、利益**上ぶれ**
 - －医薬品は、ファインテック堅調により利益**上ぶれ**
- ◆純利益は、業績予想68億円に対し、76億円と8億円の**上ぶれ**

3. 業績予想は修正なし

- ◆2Q及び通期の業績予想は、2020年5月15日発表より変更なし。
- ◆前回業績予想には、新型コロナウイルス影響を織り込んでいない。
現時点においては、この影響は限定的と見込んでいる。

4. 自己株式取得完了(70億円、1,334千株、取得期間:5月18日～7月28日)

2020 1Q実績

<前年同期比>

(売上高)	◆増収	+6 億円	(+1%)	(増収) 機能性材料、卸売 (減収) 化学、農業化学、医薬
(営業利益)	◆増益	+5 億円	(+5%)	(増益) 機能性材料、卸売 (減益) 化学、農業化学、医薬
(経常利益)	◆増益	+4 億円	(+4%)	
(特別損益)	◆減益	-9 億円	(特別利益)	-9億円(19年1Q:投資有価証券売却益9億円)
(純利益)	◆減益	-2 億円	(-3%)	
(EPS)	◆減少	-0.75円		

<2020/5業績予想比>

(売上高)	◆下ぶれ	-5 億円	(上ぶれ) 機能性材料、医薬、卸売 (下ぶれ) 化学、農業化学
(営業利益)	◆上ぶれ	+13 億円	(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、卸売 (予想通り) 医薬 (下ぶれ) 化学
(経常利益)	◆上ぶれ	+13 億円	
(純利益)	◆上ぶれ	+8 億円	

営業外損益・特別損益

(億円)

	2019実績	2020実績	2019実績	2020予想 (2020/5発表)
	1Q	1Q	年間	年間
営業外収益	9.0	8.4	26.1	25.2
受取利息・配当金	3.4	3.1	8.2	8.0
持分法投資損益	2.9	2.6	9.5	11.1
為替差益	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.7	2.7	8.4	6.1
営業外費用	2.6	2.4	12.6	13.8
支払利息	0.4	0.3	1.2	1.2
固定資産処分損	0.3	0.7	4.4	9.9
為替差損	1.7	1.0	2.4	0.0
その他	0.2	0.4	4.6	2.7
特別利益（投資有価証券売却益）	8.5	0.0	18.3	5.0
特別損失	0.0	0.0	8.3	0.0

キャッシュフロー

(億円)

	2019実績	2020実績
	1Q	1Q
営業キャッシュ・フロー	100	124
税金等調整前純利益	108	104
投資有価証券売却損益(－は益)	-9	0
減価償却費(1)	23	23
法人税等の支払	-40	-60
運転資金増減他	18	57
投資キャッシュ・フロー	-6	-15
設備投資	-23	-20
投資有価証券購入・売却	17	-1
その他(2)	0	6
財務キャッシュ・フロー	-298	-249
株主還元(配当)	-62	-70
株主還元(自己株取得)	-38	-41
借入金増減額	-175	-109
その他	-23	-29
現金及び現金同等物に係る換算差額	-2	0
現金及び現金同等物の増減額	-206	-140
現金及び現金同等物の残高	156	166

2019実績	2020予想 (2020/5発表)
	年間
年間	年間
355	391
410	409
-18	-5
105	109
-84	-112
-58	-10
-156	-119
-89	-111
25	6
-92	-14
-252	-251
-124	-231
-100	
-19	-20
-9	0
-3	0
-56	21
306	327

(1) のれん償却費を含む

(2) 2019実績(年間): 殺菌剤クインテック事業買収-63、他-29

貸借対照表

	2019/6	2020/3 (A)	2020/6 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,293	1,542	1,346	-196
現金預金	156	306	166	-140
売上債権	642	725	630	-95
たな卸資産	431	439	466	+27
その他	64	72	84	+12
固定資産	909	953	975	+22
有形固定資産	519	516	508	-8
無形固定資産	14	74	72	-2
投資有価証券*	326	309	346	+37
その他	50	54	49	-5
資産合計	2,202	2,495	2,321	-174

*投資有価証券内訳

上場株式	228	207	241	+34
非上場株式	25	26	27	+1
関係会社株式	73	76	78	+2
合計	326	309	346	+37

(億円)

	2019/6	2020/3 (A)	2020/6 (B)	増減 (B) - (A)
負債	424	640	475	-165
買入債務	166	169	158	-11
借入金	90	246	137	-109
その他	168	225	180	-45
純資産	1,778	1,855	1,846	-9
株主資本	1,673	1,771	1,736	-35
その他有価証券 評価差額金	93	78	102	+24
為替換算 調整勘定	-6	-9	-8	+1
非支配株主持分	16	16	16	0
退職給付に係る 調整累計額	2	-1	0	+1
負債・純資産 合計	2,202	2,495	2,321	-174

・自己資本比率 80.0% 73.7% 78.8%

・D/Eレシオ(1) -3.9% -3.4% -1.7%

・株主資本増減-35 = 純利益76 - 配当その他111

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

(白紙)

2019-20 1Q セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2019実績					2020実績		2020予想 (2020/5発表)				
	1Q (A)	2Q	3Q	4Q	計	1Q (B)	増減 (B) - (A)	1Q	2Q	上	下	計
化学	84	84	87	88	343	74	-10	85	85	170	186	356
ファイン	26	26	26	27	105	27	+1	32	32	64	67	131
基礎	58	58	61	61	238	47	-11	53	53	106	119	225
機能性	151	163	170	171	655	171	+20	169	172	341	360	701
農業化学	147	132	55	306	640	146	-1	152	108	260	395	655
医薬	19	15	16	20	70	15	-4	12	16	28	36	64
創薬	14	7	9	10	41	7	-6	7	8	15	13	28
FT	5	8	6	10	29	8	+3	5	8	13	22	36
卸売	175	158	175	171	679	182	+7	171	159	330	352	682
その他	49	49	51	75	224	48	-1	55	51	106	144	250
調整額	-138	-123	-139	-143	-543	-143	-5	-146	-123	-269	-294	-563
合計	487	478	415	688	2,068	493	+6	498	468	966	1,179	2,145

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2019-20 1Q セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2019実績					2020実績	
	1Q (A)	2Q	3Q	4Q	計	1Q (B)	増減 (B) - (A)
化学	9	-6	5	5	13	7	-2
機能性	40	44	47	39	170	53	+13
農業化学	45	49	-18	117	193	40	-5
医薬	4	1	1	3	9	-1	-5
創薬	2	-2	-2	0	-1	-2	-5
FT	2	3	2	4	11	2	0
卸売	5	5	6	5	21	7	+2
その他	1	0	1	5	7	0	-1
調整額	-11	-6	-8	-2	-27	-8	+3
合計	93	87	34	172	386	98	+5

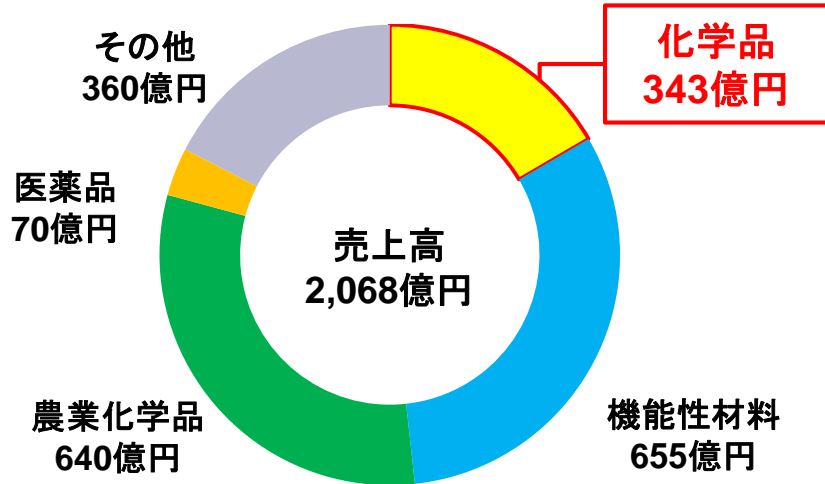
2020予想 (2020/5発表)				
1Q	2Q	上	下	計
12	0	12	15	27
42	45	87	94	181
36	31	67	117	184
-1	2	1	3	4
-3	-1	-3	-6	-10
1	3	4	10	14
5	5	10	10	20
0	1	1	6	7
-9	-8	-17	-13	-30
85	76	161	232	393

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(2020年3月期決算説明資料p18参照)

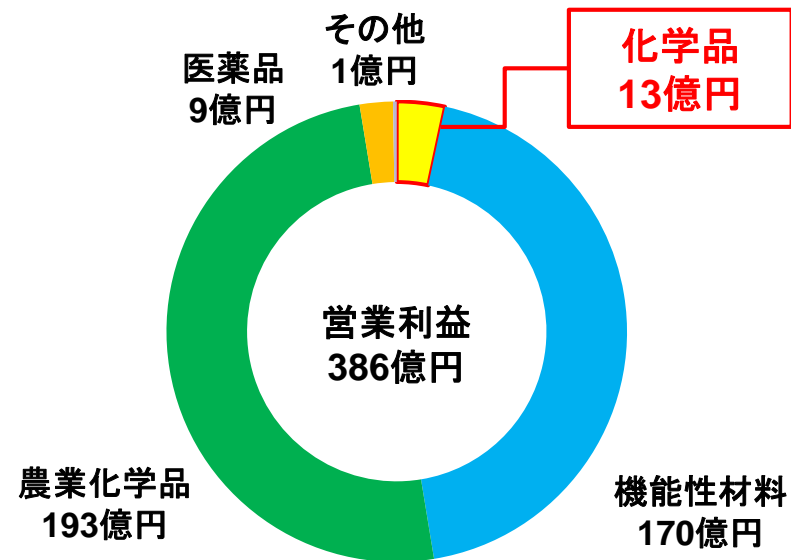
(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

化学品セグメント概況－(A) 業績

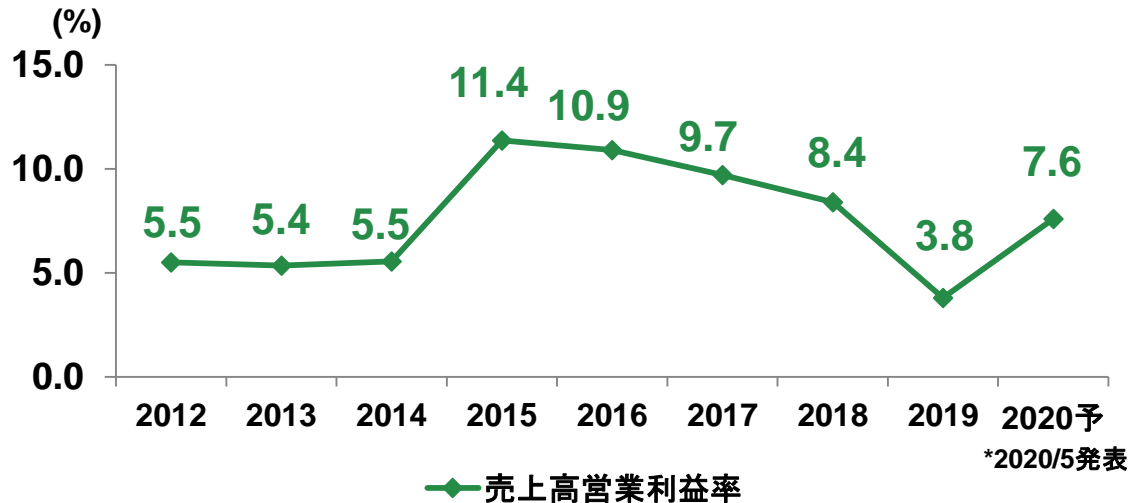
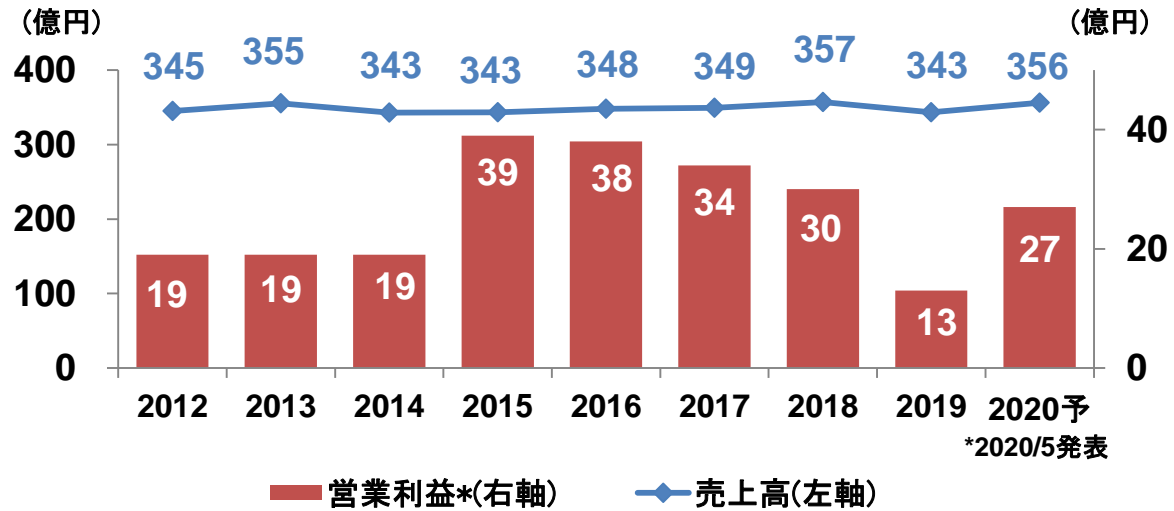
1. 2019年度 売上高構成



2. 2019年度 営業利益構成(新方式*)



3. 化学品業績推移



*2019年度より新方式セグメント別営業利益(2020年3月期決算説明資料p18参照)

化学品セグメント概況-(B) 2020 1Q 主要製品売上高成長率、収益動向

<主要製品売上高成長率>

	2020 1Q実績 *	
	前年同期比	計画比 (20/5作成、非開示)
テピック	-9%	下ぶれ
環境化学品	-13%	下ぶれ
ファイン合計	+5%	下ぶれ
メラミン	-55%	下ぶれ
尿素・アドブルー	-5%	下ぶれ
高純度硫酸	+19%	下ぶれ
硝酸製品	-2%	下ぶれ
基礎化学品合計	-19%	下ぶれ

左記2製品グループの
2020年1Q実績ファインケミカル
売上高に占める割合: 72%

左記4製品グループの
2020年1Q実績基礎化学品
売上高に占める割合: 53%

<化学品収益動向>

(億円)

	2019実績 (A)	2020実績* (B)	増減 (B) - (A)	2020予想 (20/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	84	74	-10	85
ファイン	26	27	+1	32
基礎	58	47	-11	53
営業利益	9	7	-2	12

*2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を
基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2020 1Q実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 減収: テピック一般(海外)・電材(車載向け)、環境(プール向け)
- ◆ 在庫変動影響(プラス要因)
- ◆ 売上高増加(FO*移管影響+3億円)、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体洗浄用途)
- ◆ 減収: メラミン国内(住宅着工減)・輸出(スプレッド重視で数量減の方針)、尿素・アドブルー、硝酸製品
- ◆ 売上高減少(FO*移管影響-3億円)、営業利益減少
- (合計) ◆ 売上高-10億円、営業利益-2億円

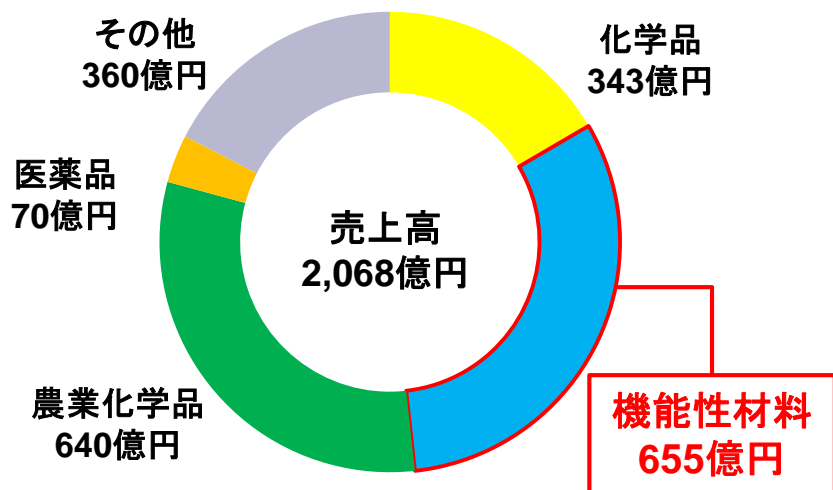
2020 1Q実績

<2020/5業績予想比>

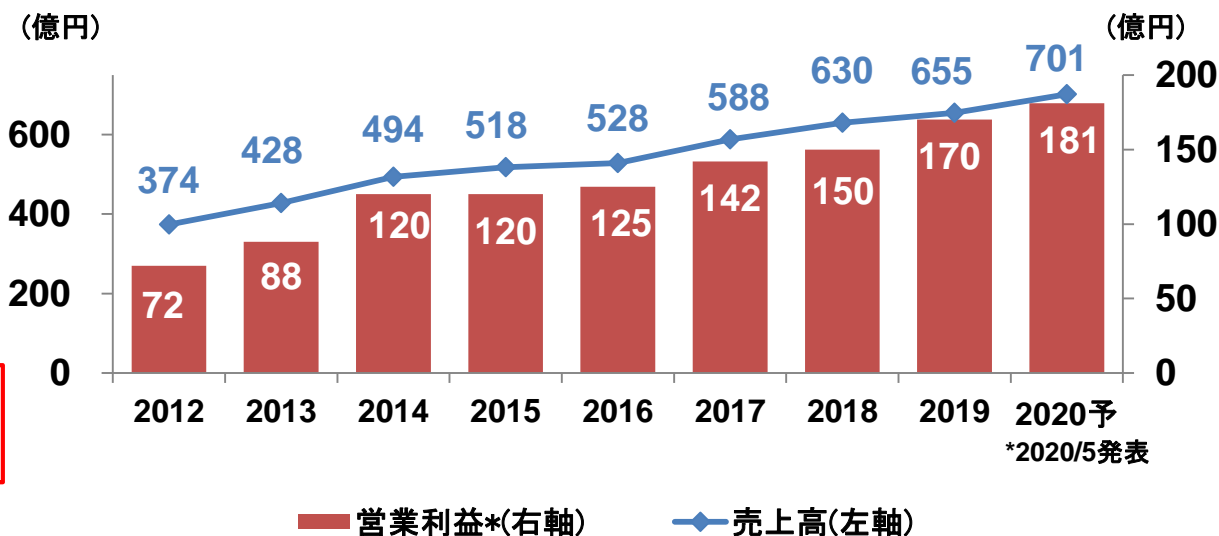
- (ファイン) ◆ 売上高下ぶれ: テピック一般・電材、環境
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高下ぶれ: メラミン国内・輸出、尿素・アドブルー、高純度硫酸、硝酸製品
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (合計) ◆ 売上高-11億円、営業利益-5億円

機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

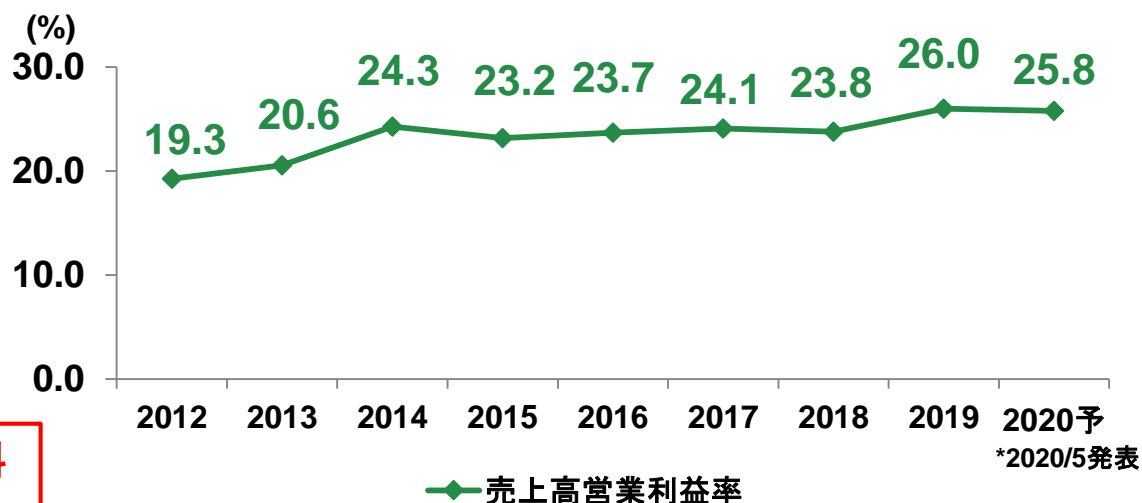
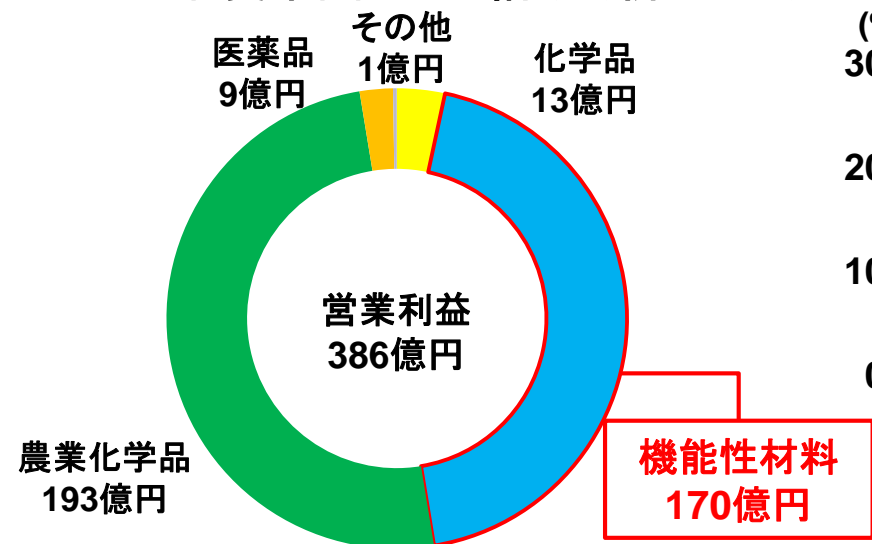
1. 2019年度 売上高構成



3. 機能性材料業績推移

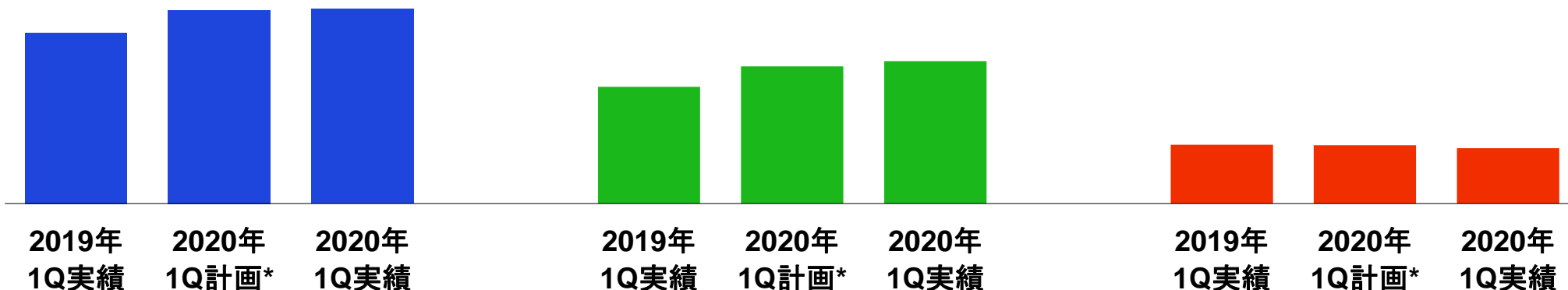


2. 2019年度 営業利益構成 (新方式*)



*2019年度より新方式セグメント別営業利益(2020年3月期決算説明資料p18参照)

機能性材料セグメント概況 – (B) 2020 1Q 売上高構成



*20/5作成、非開示

< ディスプレイ材料 >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

< 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材
 多層材料：半導体用多層プロセス材料
 (OptiStack®)

その他
 新材料：EUV材料、三次元実装材
 CMOSイメージセンサー材料等

< 無機コロイド >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、
 化合物半導体、半導体CMP等)
 特殊鋼板

オルガノゾル・
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、
 樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス探掘効率向上材

機能性材料セグメント概況- (C) 2020 1Q 主要製品売上高成長率

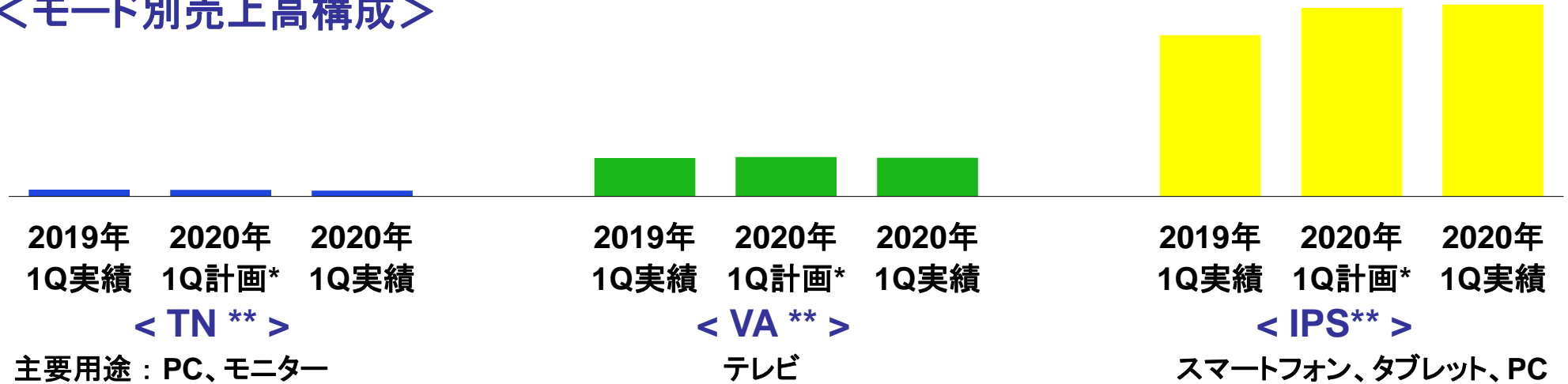
主要製品	2020 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (20/5作成 非開示)
サンエバー合計	+14%	上ぶれ
ディスプレイ材料合計	+14%	上ぶれ
KrF (ARC®)	+26%	上ぶれ
ArF (ARC®)	+19%	上ぶれ
ARC® 小計	+23%	上ぶれ
その他半導体材料 合計 (1)	+20%	下ぶれ
半導体材料合計	+22%	上ぶれ

主要製品	2020 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (20/5作成 非開示)
スノーテックス	+8%	上ぶれ
オルガノゾル・ モノマーゾル	-9%	下ぶれ
オイル&ガス材料	-84%	下ぶれ
無機コロイド合計	-6%	下ぶれ

(1) 多層材料 (OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

機能性材料セグメント概況 – (D) 2020 1Q サンエバー モード別売上高

<モード別売上高構成>



2019年 1Q実績 2020年 1Q計画* 2020年 1Q実績

< TN ** >

主要用途：PC、モニター

*20/5作成、非開示

**TN：Twisted Nematic, VA：Vertical Alignment, IPS：In-Plane Switching

2019年 1Q実績 2020年 1Q計画* 2020年 1Q実績

< VA ** >

テレビ

2019年 1Q実績 2020年 1Q計画* 2020年 1Q実績

< IPS** >

スマートフォン、タブレット、PC

<モード別前年同期比売上高成長率>

	2020 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (20/5作成、非開示)
TN	↘ ↘	下ぶれ
VA	↗	下ぶれ
IPS	↗ ↗	上ぶれ
サンエバー計	+14%	上ぶれ

前年同期比売上高増減

+10～+19%	↗↗
+0～+9%	↗
-0～-9%	↘
-10～-19%	↘↘

機能性材料セグメント概況 – (E) 2020 1Q 収益動向

<機能性材料収益動向>

(億円)

	2019実績 (A)	2020実績 (B)	増減 (B) - (A)	2020予想 (20/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	151	171	+20	169
営業利益	40	53	+13	42

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2020 1Q実績 <前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(スマホ、非スマホ好調)、
ラビングIPS増収(非スマホ好調)、VA増収、TN減収
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
ロジック好調維持、DRAM・フラッシュ回復
固定費減少4億円
- ◆ 無機減収、減益
スノーテックス増収(一般用途横ばい・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料減収(シェールオイル市場低迷)
- ◆ 固定費減少合計4億円
- ◆ 売上高+20億円、営業利益+13億円

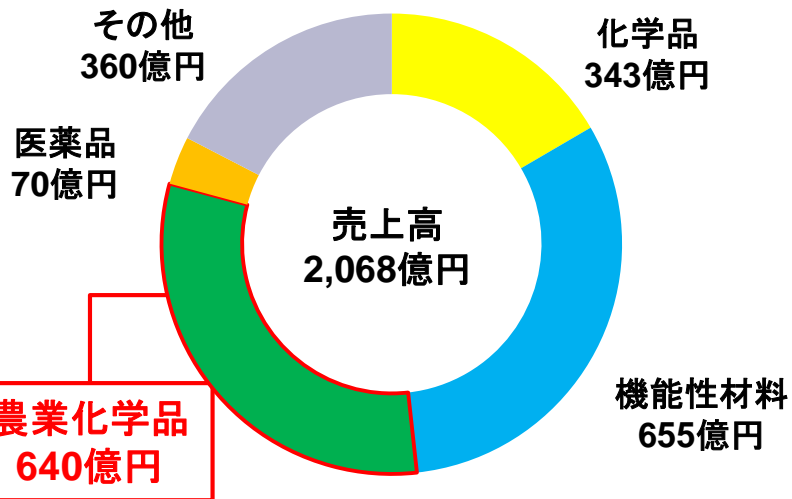
2020 1Q実績 <2020/5業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS下ぶれ(スマホ下ぶれ)、ラビングIPS上ぶれ(非スマホ上ぶれ)、
VA下ぶれ、TN下ぶれ
固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ・その他下ぶれ(多層材料・その他新材料下ぶれ)
半導体市場全般好調
固定費下ぶれ5億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス上ぶれ(自動車向け等一般用途下ぶれ・研磨材上ぶれ)、
オルガノ・モノマーゾル下ぶれ、
オイル&ガス材料下ぶれ(シェールオイル市場低迷)
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計10億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+2億円、営業利益+11億円

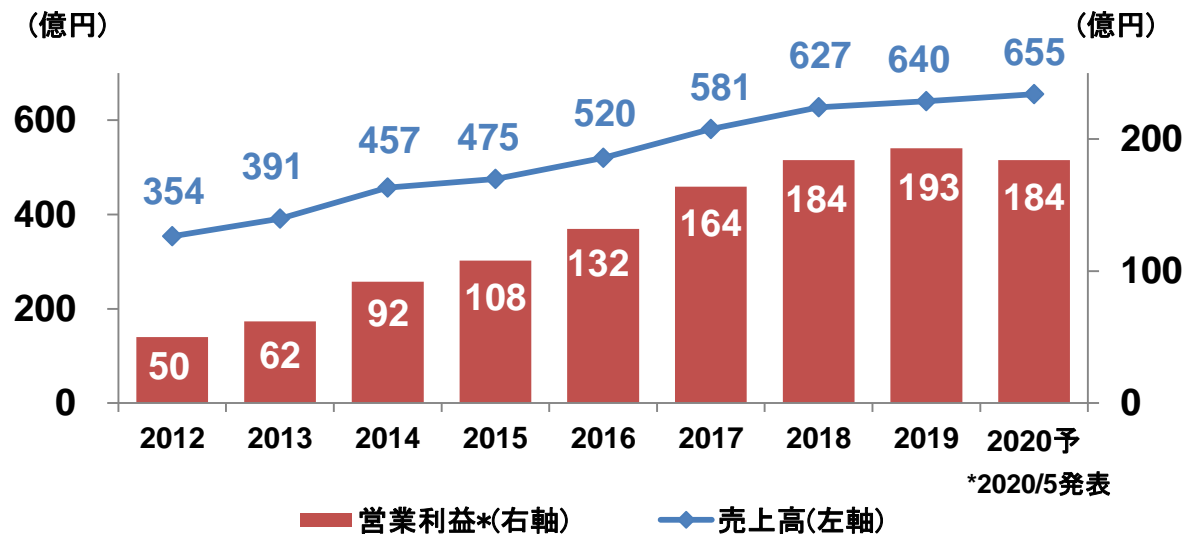
(白紙)

農業化学品セグメント概況- (A) 業績

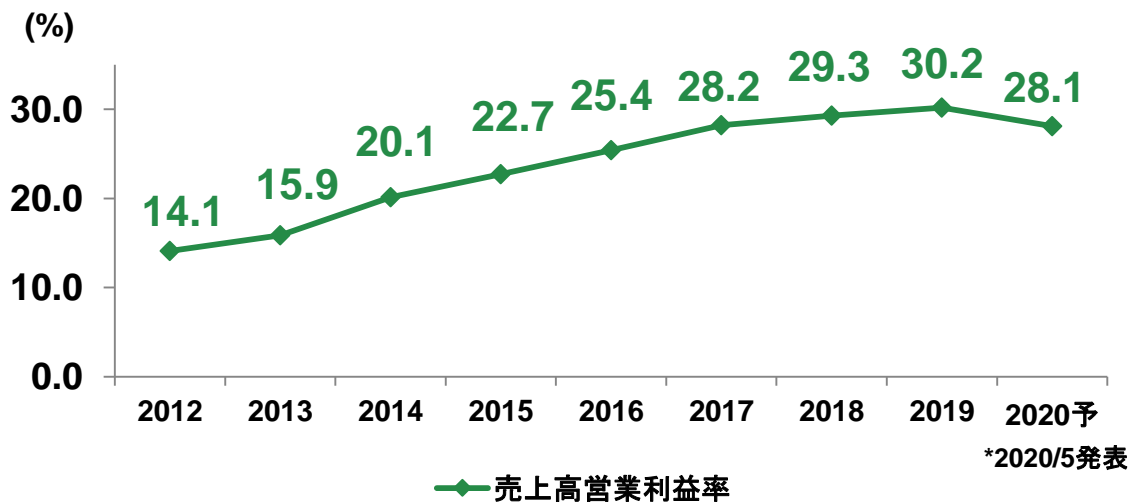
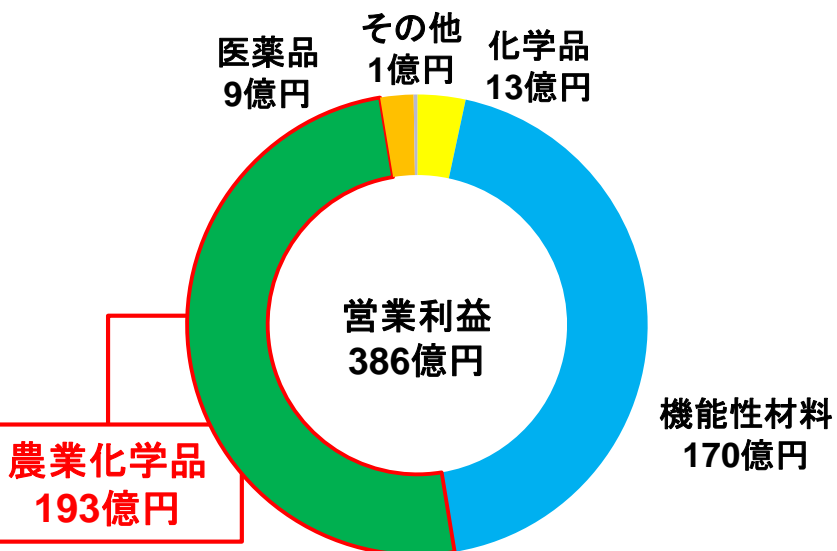
1. 2019年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



2. 2019年度 営業利益構成(新方式*)



*2019年度より新方式セグメント別営業利益(2020年3月期決算説明資料p18参照)

農業化学品セグメント概況- (B) 主要製品連結売上高成長率(値引前)

主要製品名 (2019年売上高順)	種類	2020 1Q実績	
		前年同期比	計画比 (20/5作成、非開示)
フルラネル	動物薬	-16%	上ぶれ
ラウンドアップ(1)	除草	-6%	下ぶれ
アルテア	除草	+20%	下ぶれ
タルガ	除草	+36%	上ぶれ
グレーシア	殺虫	+3%	下ぶれ
パーミット	除草	-42%	下ぶれ
ライメイ	殺菌	+26%	上ぶれ
クインテック	殺菌	-	下ぶれ
農業化学品 セグメント合計	-	-2%	下ぶれ

◆国内農薬販売額第1位 (2017年10月～2018年9月)

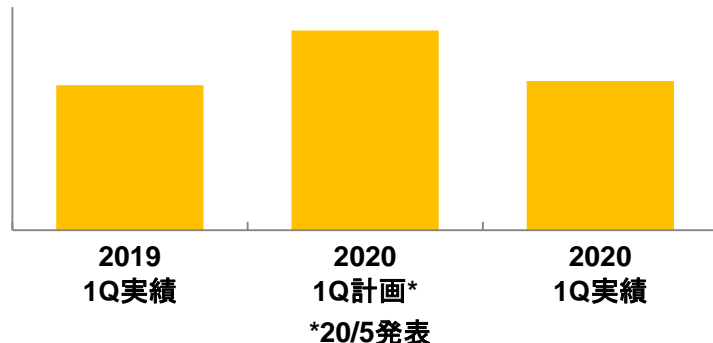
⇒2020年1月22日開催

ラウンドアップの現状説明会資料参照

https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf

(1) ラウンドアップALは2020年度1Qラウンドアップ売上高全体の34%を占める

◆グレーシア売上高 2020 1Q実績



◆クインテック事業(キノキシフェン)

- ・2019年11月米国コルテバ社より事業を買収、2019年12月販売開始
- ・クインテック = キノキシフェン(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

農業化学品セグメント概況- (C) フルララネル



◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社*に供給
 - *MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国で発売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - UK、ドイツ、フランス等一部EU諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

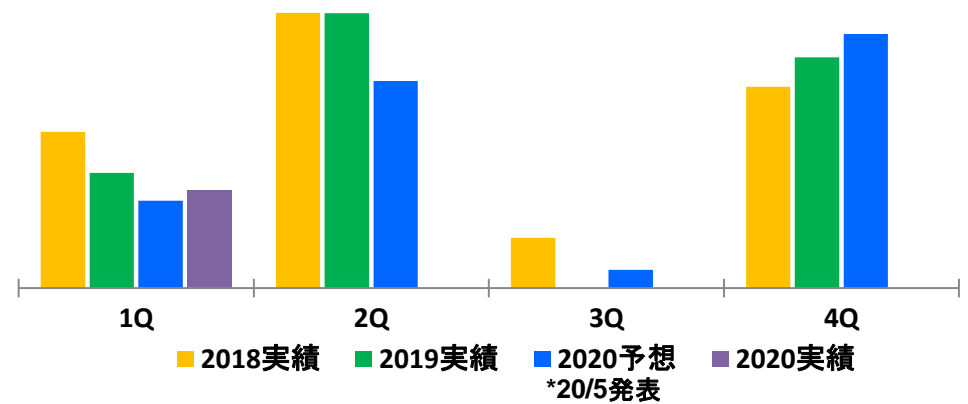
◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間**にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
 - **クリイロコイタマダニは8週間

2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市、2019年7月中国上市
2020年7月1か月剤(子犬向け)米国販売承認

- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
 - 2016年7月EU(猫)、2016年12月米国(猫)
 - 2017年1月米国・ドイツ・オーストリア(犬)
 - 2018年6月日本(猫)

■ 当社フルララネル 四半期別売上高(ロイヤリティ収入含む)



◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)
 - 2017年9月欧州、2018年6月韓国

◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤
 - 2018年7月EU、2019年12月米国

農業化学品セグメント概況- (D) 収益動向

<農業化学品収益動向>

(億円)

	2019実績	2020実績	増減	2020予想
	(A)	(B)	(B) - (A)	(20/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	147	146	-1	152
営業利益	45	40	-5	36

2020 1Q実績 <前年同期比>

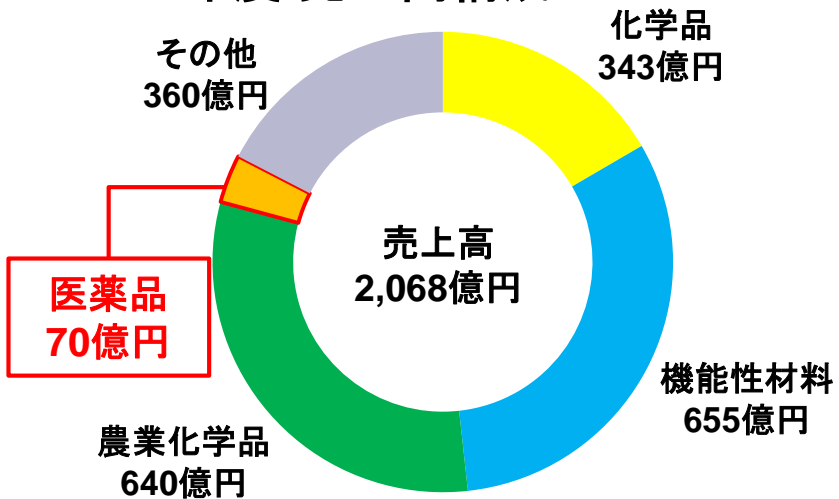
- ◆ 増収: タルガ(輸出前倒し、海外混合剤向け)、アルテア(国内・輸出)、クインテック(輸出)、ライメイ(国内、輸出)、グレーシア(輸出)
- ◆ 減収: フルララネル(プラベクト在庫調整影響)、グレーシア(国内、低温で害虫発生小)、パーミット(輸出、19年度出荷増の反動)、ラウンドアップ(ML: 流通在庫減で減収、AL: 高価格品ALⅢシフトで増収)
- ◆ 固定費増加3億円
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-1億円、営業利益-5億円

2020 1Q実績 <2020/5業績予想比>

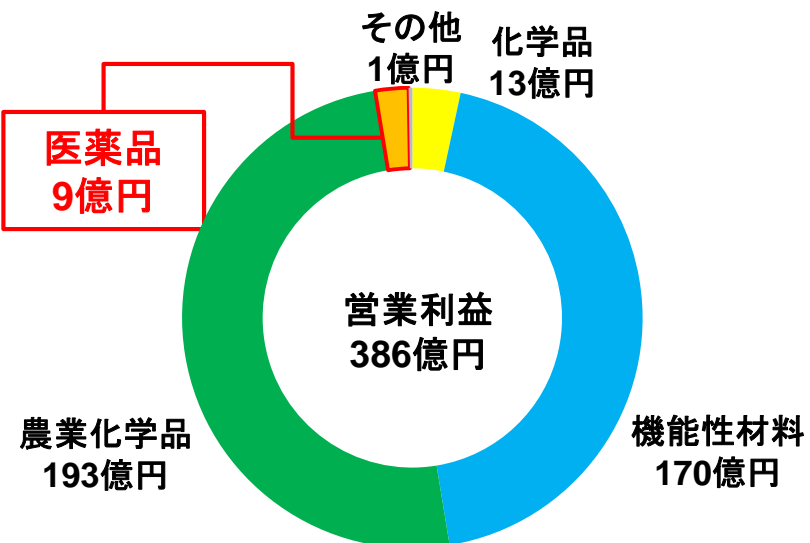
- ◆ 売上高上ぶれ: タルガ(輸出前倒し、海外混合剤向け)、フルララネル(出荷前倒し)、ライメイ(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: グレーシア(国内、害虫発生小・輸出)、ラウンドアップ(ML: 流通在庫減で下ぶれ、AL: 高価格品ALⅢシフトで上ぶれ)、アルテア(国内供給下ぶれ)、クインテック(輸出)、パーミット(国内)
- ◆ 固定費下ぶれ5億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響+3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-6億円、営業利益+4億円

医薬品セグメント概況 – (A) 業績

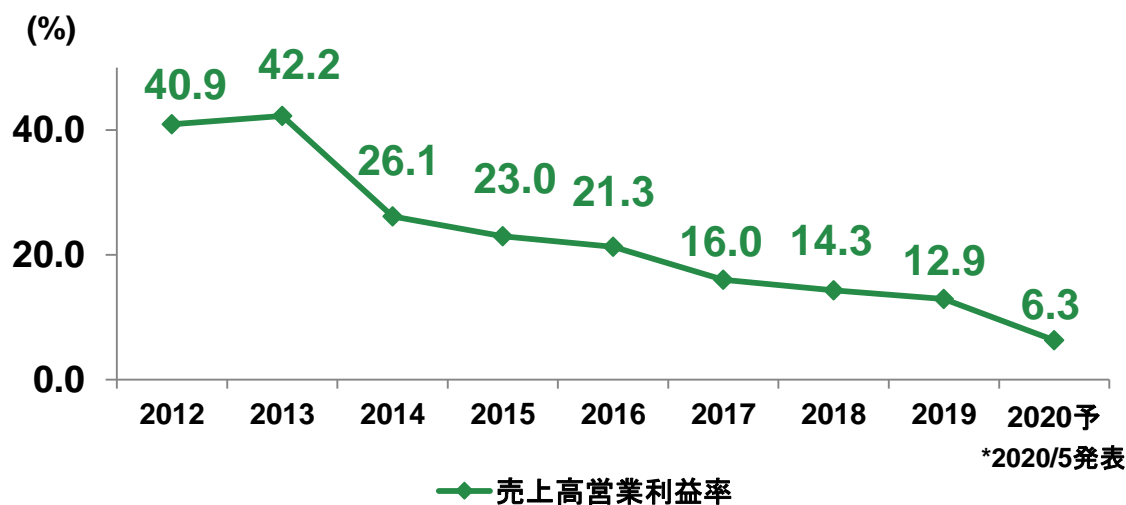
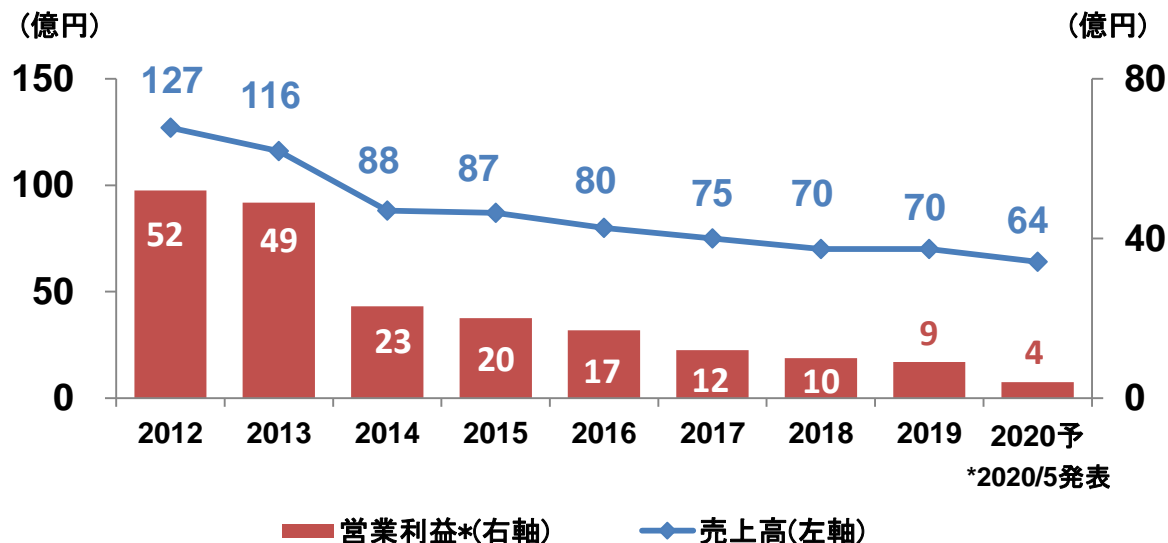
1. 2019年度 売上高構成



2. 2019年度 営業利益構成 (新方式*)



3. 医薬品業績推移



*2019年度より新方式セグメント別営業利益 (2020年3月期決算説明資料p18参照)

医薬品セグメント概況 – (B) 2020 1Q 主要製品売上高成長率、収益動向

<主要製品売上高成長率>

	2020 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (20/5作成 非開示)
リバロ	-48%	上ぶれ
ファインテック	+49%	上ぶれ
医薬品 セグメント合計	-20%	上ぶれ

2020 1Q実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
◆ 売上高-6.2億円、営業利益-4.5億円
- (FT) ◆ 増収
◆ 売上高+2.5億円、営業利益-0.1億円
- (合計) ◆ 売上高-3.7億円、営業利益-4.6億円

<医薬品収益動向> (1)

	2019実績 (A)	2020実績 (B)	増減 (B) - (A)	(億円)
	1Q	1Q	1Q	2020予想 (20/5発表) 1Q
売上高	18.7	15.0	-3.7	11.9
創薬	13.6	7.4	-6.2	6.6
FT	5.1	7.6	+2.5	5.3
営業利益	3.9	-0.7	-4.6	-1.4
創薬	2.3	-2.2	-4.5	-2.6
FT	1.6	1.5	-0.1	1.2

(1) p9,10,37,38では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

2020 1Q実績

<2020/5業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
◆ 売上高+0.8億円、営業利益+0.4億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ
◆ 売上高+2.3億円、営業利益+0.3億円
- (合計) ◆ 売上高+3.1億円、営業利益+0.7億円

ESGへの取り組み、外部からの評価

◆ ESGインデックス等

2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に4年連続認定

2019年9月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に
2年連続で選定
「統合レポート2019」を発行

https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2019.pdf

2020年2月 CDP 水セキュリティにおいて「Aリスト」に初選定

2020年6月 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄に2年連続で選定
FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexの
構成銘柄に選定

◆ ガバナンス

2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)

2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
社外取締役を1名増員し、3名体制へ(取締役は計9名)

◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

2019年8月 「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中の
50社に2年連続選定

2020予想(2020年5月15日発表、今回変更なし)

以下、2020予想に係る数値は、新型コロナウイルスによる影響について、想定することが困難なため織り込んでおりません。現時点において、この影響は限定的と見込んでおります。

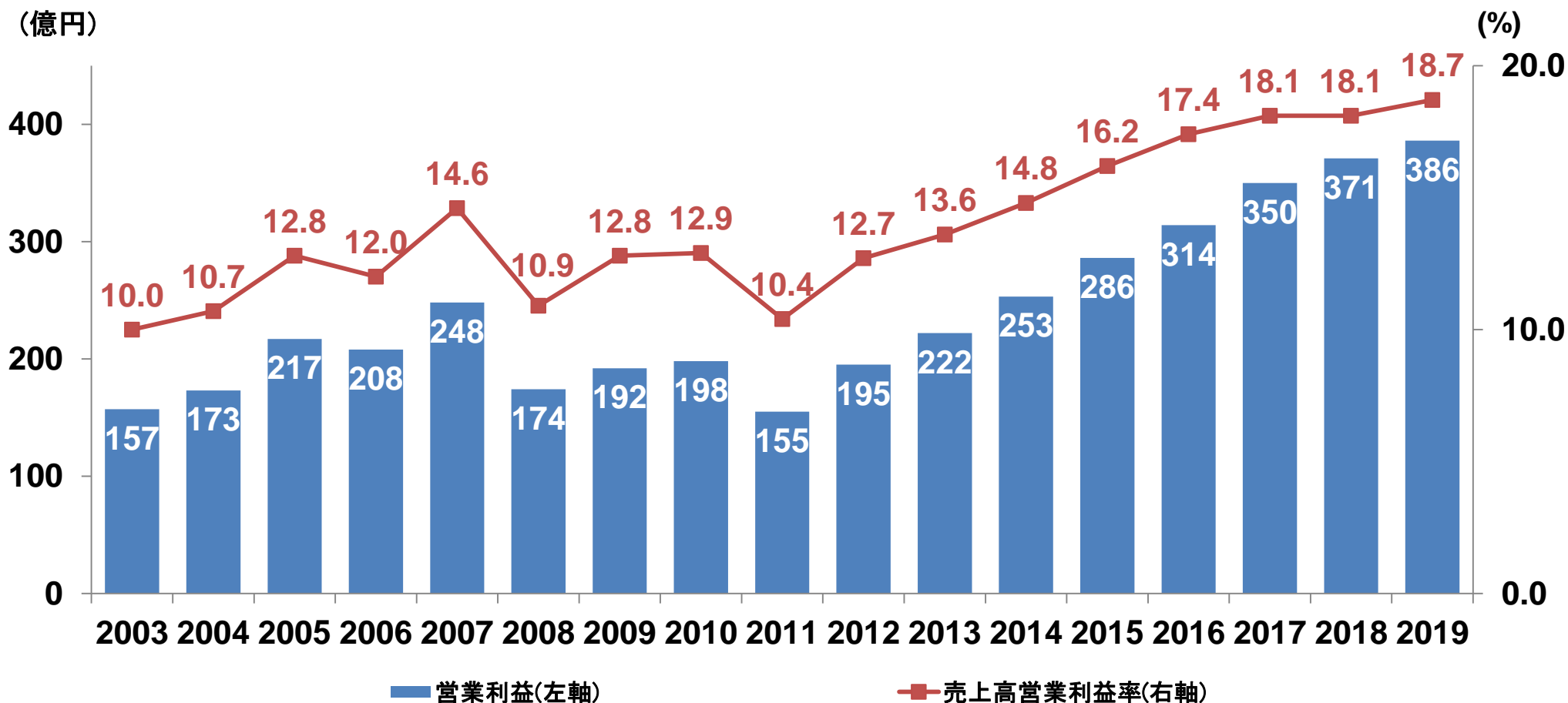
	2019実績			2020予想			増減			増減率	(億円)
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	
売上高	965	1,103	2,068	966	1,179	過去最高 2,145	+1	+76	+77	+4%	
営業利益	180	206	386	161	232	過去最高 393	-19	+26	+7	+2%	
営業外損益	6	8	14	6	5	11	0	-3	-3	-	
経常利益	186	214	400	167	237	過去最高 404	-19	+23	+4	+1%	
特別損益(1)	9	1	10	0	5	5	-9	+4	-5	-	
純利益(2)	145	163	308	125	183	過去最高 308	-20	+20	0	0%	
EBITDA(3)	227	265	492	205	285	490	-22	+20	-2	0%	
EPS(円/株)	98.75	111.34	210.09	86.64	127.59	214.23	-12.11	+16.25	+4.14	+2%	
配当(円/株)	42	48	90	46	50	96	+4	+2	+6		
配当総額	62	69	131	66	72	138	+4	+3	+7		
売上高 営業利益率	18.7%	18.7%	18.7%	16.7%	19.7%	18.3%	-2.0%	+1.0%	-0.4%		
ROE	-	-	16.9%	-	-	16.4%			-0.5%		
為替レート(円/ドル)	109	109	109	108	108	108					
原油(JCC)(ドル/bbl)(4)	69	67	68	65	65	65					

(1) 2020予想: 投資有価証券売却益5億円 (2) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す (3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(4) 実績は財務省貿易統計ベース

当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降17年連続10%以上)



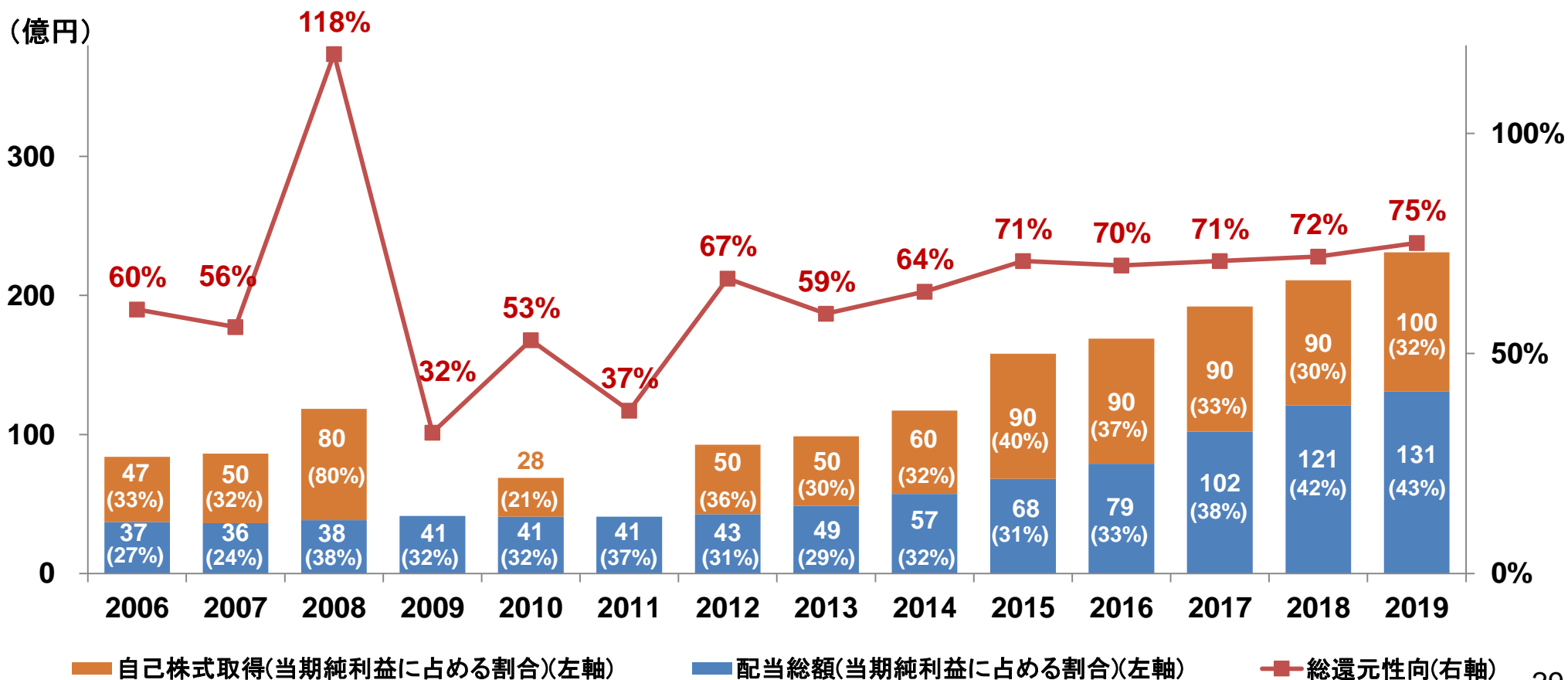
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標
- ◆ 2019年度実績は16.9%



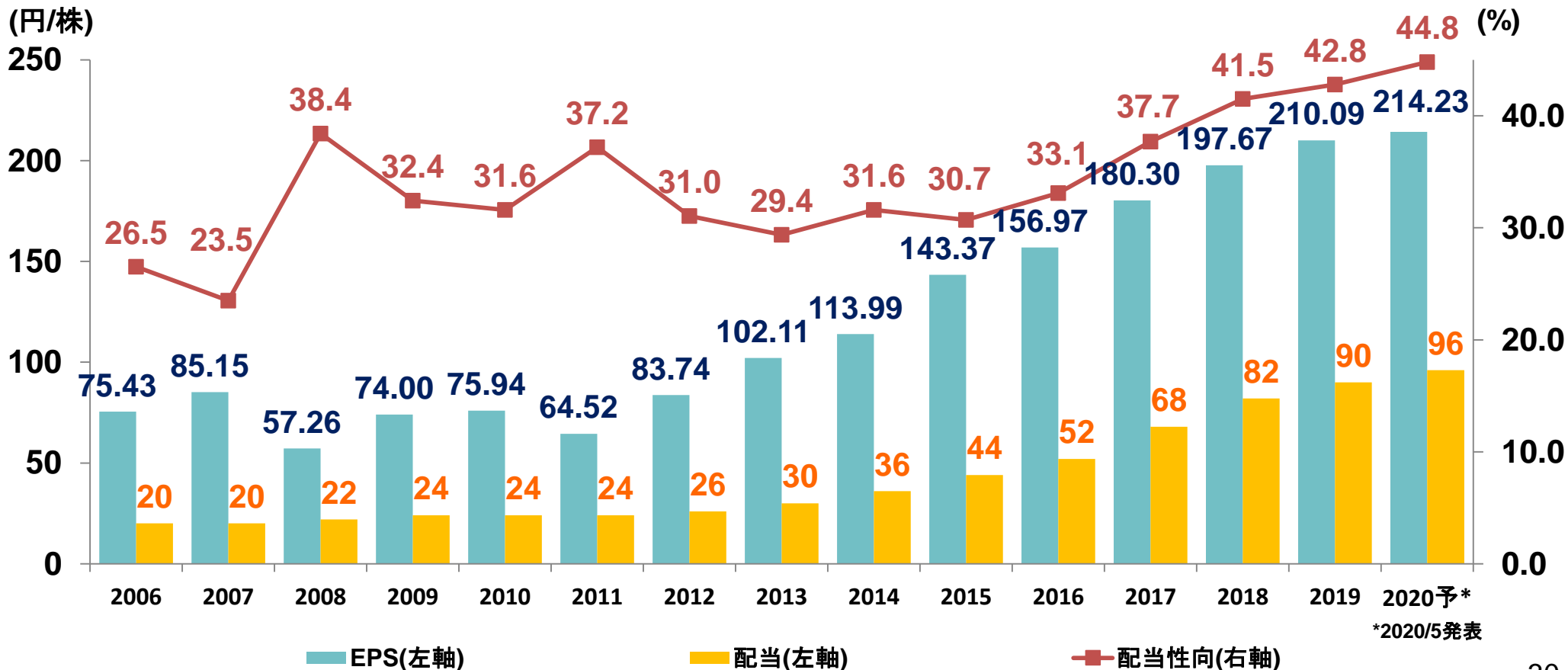
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標
- ◆ 2019年度実績は75.1%



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ、2018年度実績41.5%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では
2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標
- ◆ 2019年度実績は42.8%



当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-19年度取得総額825億円、4,089万株(取得開始前発行済株式の21.8%)
- ◆ 2006-19年度取得株はすべて消却済

2006-2019年度 自己株式取得実績

- (1) 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を除く
 (2) 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	40,886
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	90	100	825
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	41,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	149	146	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	72	75	

◆ 取得

年度	2017			2018			2019			2020
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	5月18日～7月28日
自己株式取得総数(千株)(1)	1,304	988	2,292	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334
取得価額総額(億円)(1)	50	40	90	50	40	90	60	40	100	70
自己株式消却総数(千株)	3,000	0	3,000	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	

◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

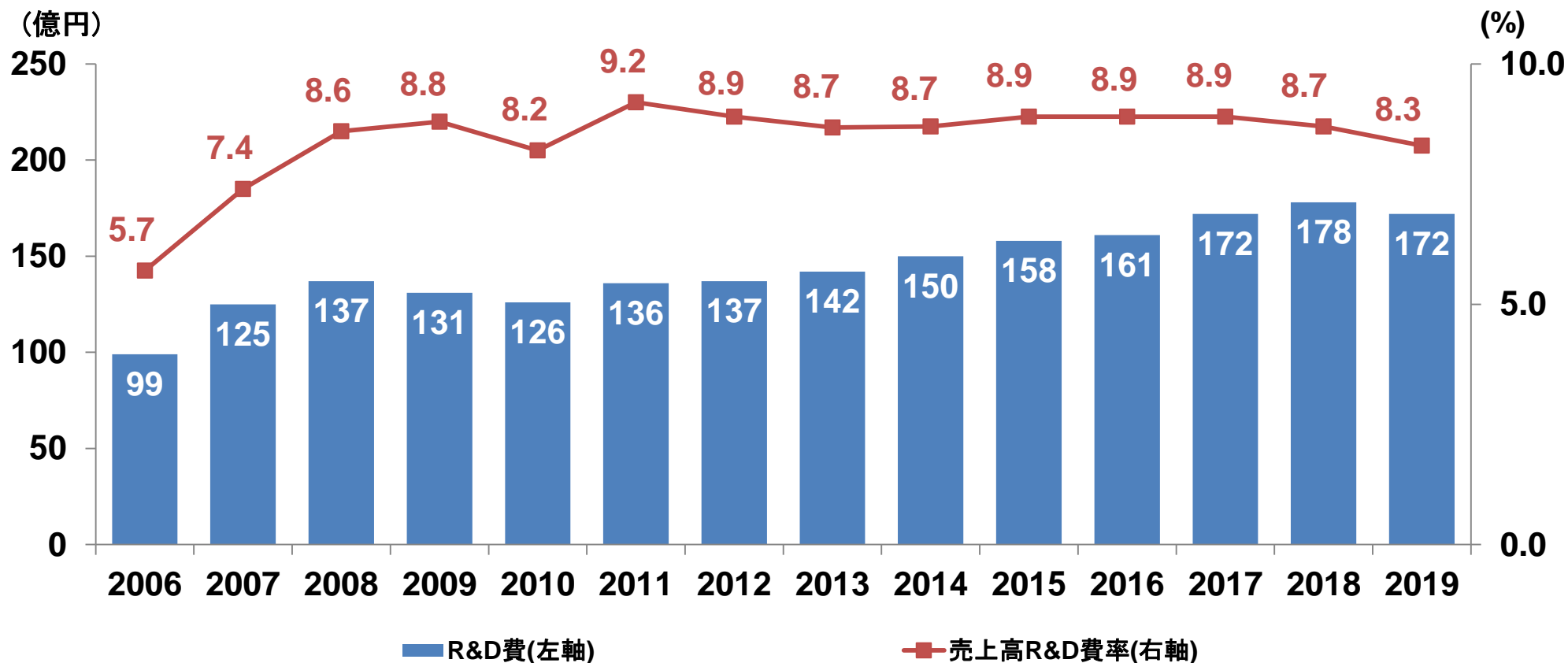
目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

(白紙)

当社の特徴- (F-1)研究開発

- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員

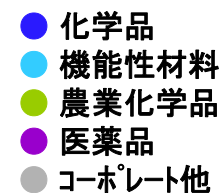
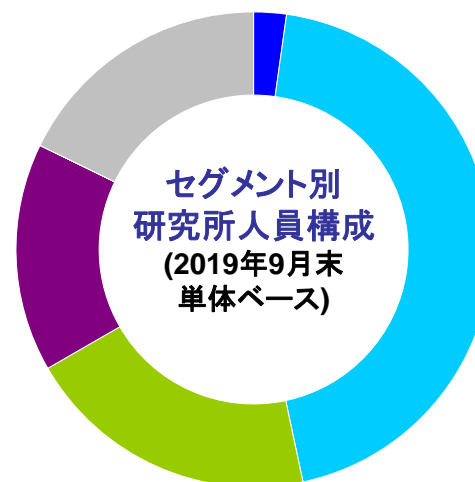
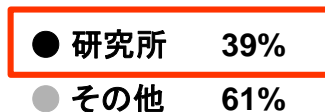
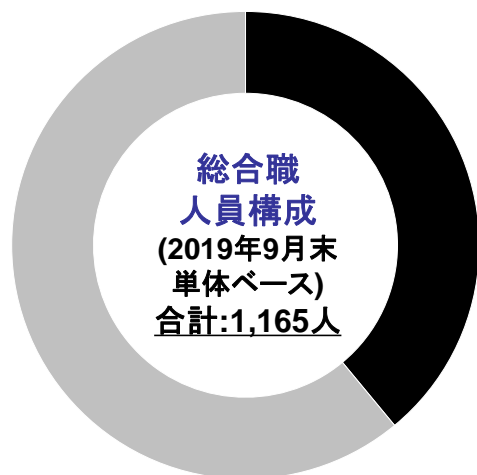


当社の特徴- (F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

セグメント	2019年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益* (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	343	13	3.8%	4	1.2%
機能性材料	655	170	26.0%	77	11.8%
農業化学品	640	193	30.2%	46	7.2%
医薬品	70	9	12.9%	25	35.7%
コーポレート他	-	-	-	20	-
その他共通合計	2,068	386	18.7%	172	8.3%

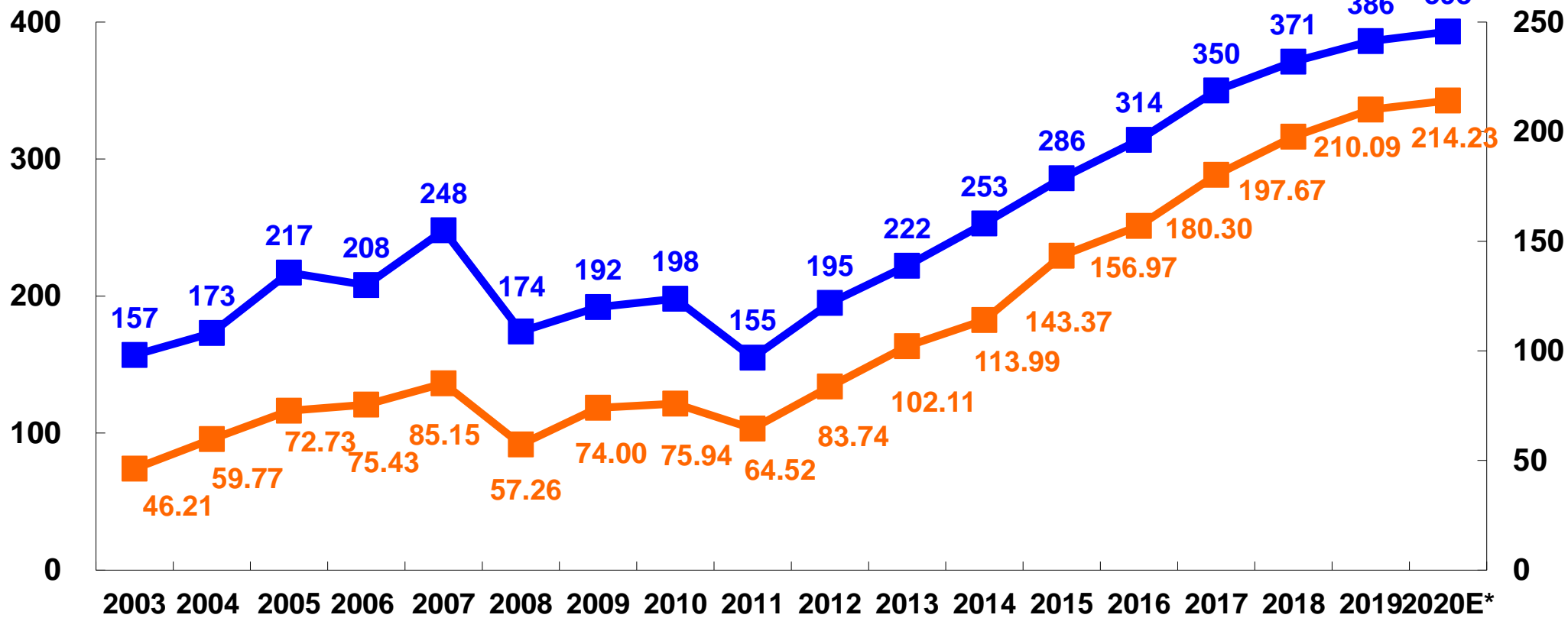
*セグメント別営業利益は新方式にて記載(2020年3月期決算説明資料p18参照)



長期業績推移

営業利益
(億円)

EPS
(円/株)



*2020/5発表

長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020E*
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,145
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	393
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	404
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	308
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	492	490
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	18.3%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	16.4%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	214.23
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	96
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.8%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	70
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	157	138
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	107
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	182
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	8.5%

*2020/5発表

2016-20 1Q 四半期別セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2016実績					2017実績					2018実績					2019実績					2020実績
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q
化学	85	80	91	92	348	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84	87	88	343	74
ファイン	28	25	27	27	107	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26	26	27	105	27
基礎	57	55	64	65	241	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58	61	61	238	47
機能	126	129	138	135	528	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163	170	171	655	171
農化	145	95	42	238	520	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132	55	306	640	146
医薬	22	15	24	19	80	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15	16	20	70	15
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	7	9	10	41	7
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	6	10	29	8
卸売	144	132	137	139	552	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158	175	171	679	182
他	40	46	58	96	240	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49	51	75	224	48
調整	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123	-139	-143	-543	-143
合計	451	394	376	582	1,803	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478	415	688	2,068	493

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2016-20 1Q 四半期別セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2016実績					2017実績					2018実績					2019実績					2020 実績
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q
化学	15	-2	13	12	38	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	5	5	13	7
機能	30	32	38	25	125	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	40	44	47	39	170	53
農化	45	24	-20	83	132	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-18	117	193	40
医薬	6	0	8	3	17	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	3	9	-1
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-2	-2	0	-1	-2
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	2	4	11	2
卸売	4	4	5	4	17	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	21	7
他	0	0	2	8	10	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	5	7	0
調整	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-11	-6	-8	-2	-27	-8
合計	95	52	40	127	314	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	34	172	386	98

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(2020年3月期決算説明資料p18参照)

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)(3)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020E*
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	343	356
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	655	701
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	640	655
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70	64
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	679	682
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224	250
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-563
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,145

*2020/5発表

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	13	27
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	170	181
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	193	184
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	9	4
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21	20
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	7	7
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-30
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	393

<セグメント資産 (D)>

2019
277
502
739
106
252
120
499
2,495

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	7.6%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	25.8%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.1%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.3%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	2.9%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	2.8%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	18.3%

<ROA (E)=(B)/(D)>

4.7%
33.9%
26.1%
8.5%
8.3%
5.8%
15.5%

(1) 2010-11 : 旧セグメント, 2012- : 新セグメント

(2) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(3) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(2020年3月期決算説明資料p18参照)

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アトフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： フール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド スノーテックス オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリイミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、 特殊鋼板 有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シェールオイル・ガス探掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ パーミット シリウス ラウンドアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト グレーシア</p> <p>◆殺菌剤 パルサー、イカルガ、グレートム (チフルサミド) ライメイ クインテック(キノキシフェン)</p> <p>◆動物薬 フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい どうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしよ</p> <p>野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION